

2018年第4問

4 平面上に三角形 OAB と点 C がある． $\overrightarrow{OA} = \vec{a}$ ， $\overrightarrow{OB} = \vec{b}$ ， $\overrightarrow{OC} = \vec{c}$ とおくとき，内積に関する等式 $\vec{a} \cdot \vec{b} = \vec{b} \cdot \vec{c} = \vec{c} \cdot \vec{a}$ が成り立つとする．次の問いに答えよ．

- (1) $OB \perp CA$ ， $OC \perp AB$ が成り立つことを示せ．ただし，点 C は 3 点 O，A，B と異なるものとする．
- (2) 点 D を $\overrightarrow{OD} = \frac{1}{2}(\vec{a} + \vec{b} - \vec{c})$ が成り立つ点とする．このとき，点 D は三角形 OAB の外心であることを示せ．
- (3) $|\vec{a}| = 2$ ， $|\vec{b}| = 3$ ， $\cos \angle AOB = \frac{1}{3}$ とする．
- (i) $\vec{c} = x\vec{a} + y\vec{b}$ が成り立つような x ， y の値を求めよ．
- (ii) t を $0 < t < 1$ を満たす実数とし，辺 AB を $t : (1-t)$ に内分する点を E とする．3 点 O，C，E が一直線上にあるとき， t の値を求めよ．